



2015年度第1四半期 決算説明資料

2015年7月31日

I. 2015年度第1四半期決算実績

・サマリー	3
・セグメント別内訳	4
・貸借対照表	5
・主要財務指標／キャッシュ・フロー	6
・受注高・受注残高	7
・売上高	8
・営業利益	9

II. 2015年度業績見通し

・業績見通しサマリー	11
・セグメント別内訳	12

III. 補足資料

補足資料	14-19
------	-------

I . 2015年度第1四半期決算実績

(単位:億円)

	'14-1Q (利益率)	'15-1Q (利益率)	増減 (増減率)
受注高	8,171	8,218	+46 (+ 0.6%)
売上高	8,597	9,314	+717 (+ 8.3%)
営業利益	(6.5%) 560	(6.3%) 588	+28 (+ 5.0%)
経常利益	(5.8%) 500	(6.6%) 616	+115 (+ 23.1%)
特別損益	-	△ 18	△ 18 -
純利益 (※)	(2.6%) 225	(3.8%) 355	+129 (+ 57.7%)
EBITDA	(11.1%) 953	(10.6%) 990	+37 (+ 3.9%)

'15-1Q特別損益
(△18)の内訳

【特別利益】

・ 固定資産売却益 41

【特別損失】

・ 事業構造改善費用 △33
・ 投資有価証券売却損 △25

(※) '15-1Qは「親会社株主に帰属する当期純利益」

第1四半期決算実績 セグメント別内訳

(単位:億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'14-1Q	'15-1Q	増減	'14-1Q	'15-1Q	増減	'14-1Q	'15-1Q	増減
エネルギー・環境	3,152	2,711	△ 441	3,008	3,437	+428	214	154	△ 60
交通・輸送	1,189	1,550	+360	1,147	1,457	+310	60	228	+167
防衛・宇宙	114	308	+194	823	821	△ 2	44	32	△ 12
機械・設備システム	3,590	3,509	△ 80	3,491	3,485	△ 5	235	176	△ 58
その他	375	515	+139	369	372	+3	22	31	+9
消去または共通	△ 251	△ 376	△ 125	△ 243	△ 260	△ 17	△ 16	△ 34	△ 18
合計	8,171	8,218	+46	8,597	9,314	+717	560	588	+28

貸借対照表

(単位:億円)

	'14年度末	'15-1Q末	対前年度末 増減
売上債権	12,912	11,590	△1,322
たな卸資産	13,248	14,048	+800
その他流動資産	9,358	9,619	+260
固定資産	11,963	11,867	△95
投資等	7,720	8,253	+533
資産合計	55,203	55,379	+176
買入債務	8,692	8,071	△620
前受金	6,631	6,592	△38
その他	8,923	8,973	+49
有利子負債	9,755	10,128	+372
純資産	21,200	21,613	+413
(うち自己資本)	(17,807)	(18,204)	(+396)
負債・純資産合計	55,203	55,379	+176

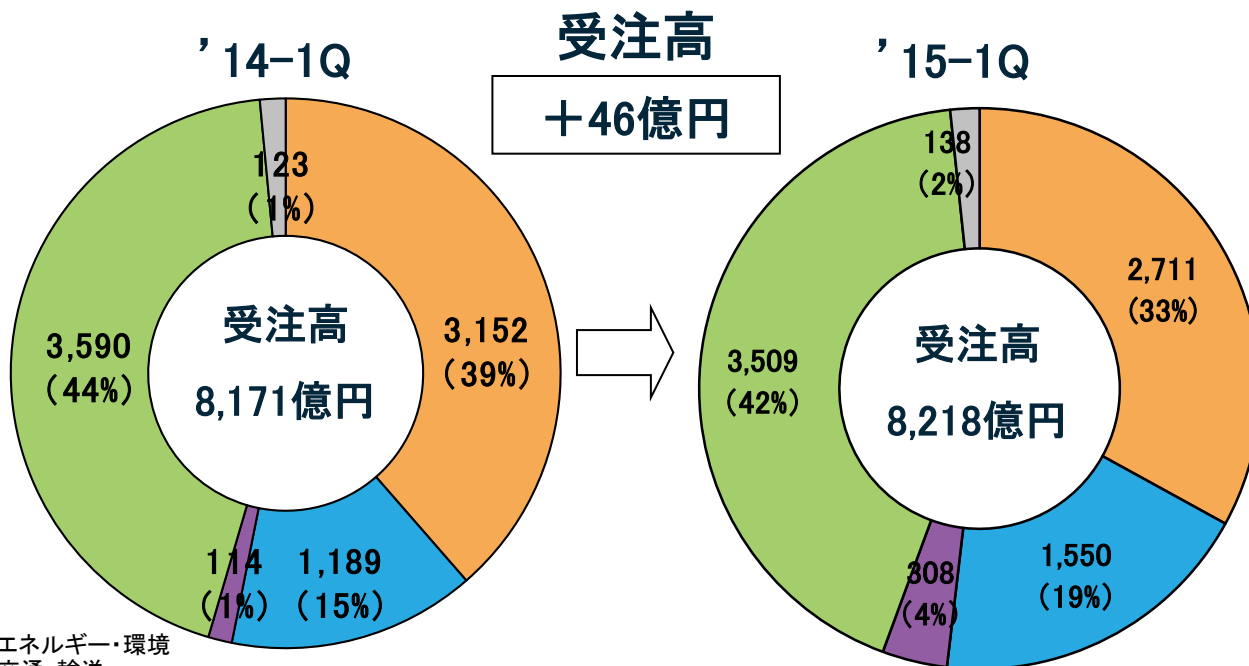
主要財務指標

	'14年度	'15-1Q	対前年度末 増減
自己資本比率	32.3%	32.9%	+0.6pt
有利子負債残高 (単位:億円)	9,755	10,128	+372
D/Eレシオ	0.46	0.47	+0.01

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	'14-1Q	'15-1Q	増減
営業CF	176	△ 98	△ 274
投資CF	△ 552	△ 408	+143
フリーCF	△ 376	△ 507	△ 131

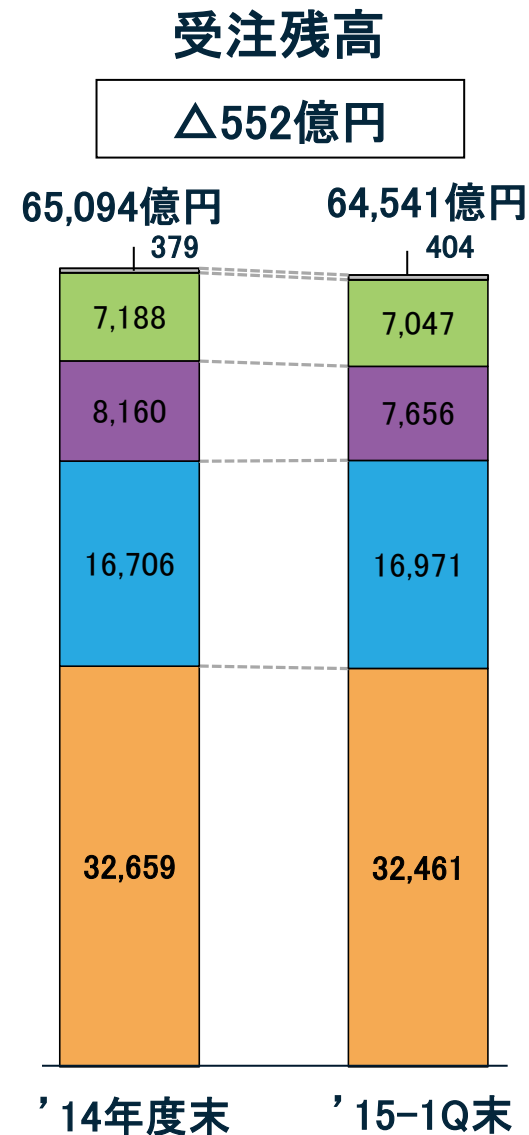


➤ **エネルギー・環境**
コンベンショナルが減少

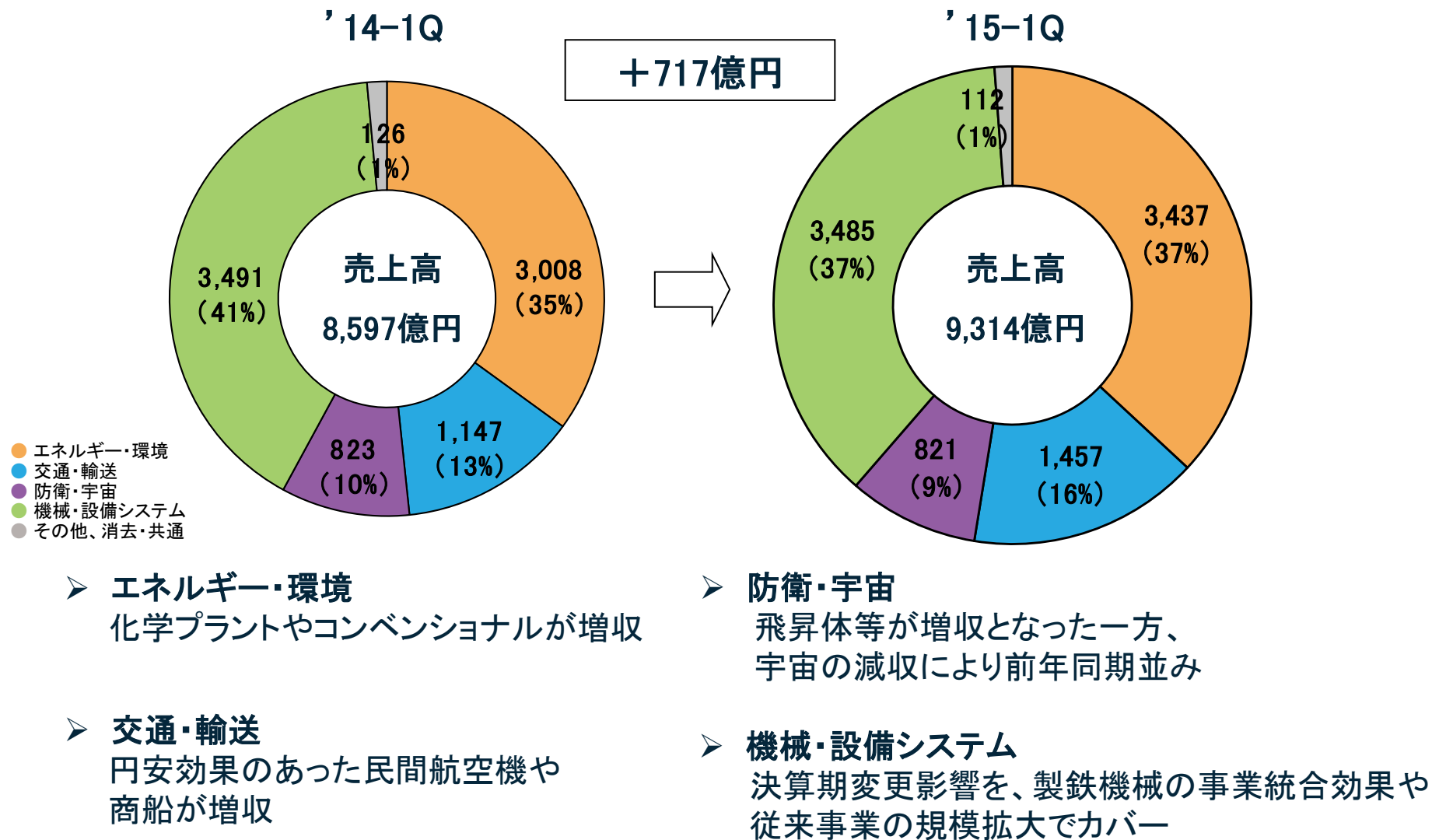
➤ **交通・輸送**
LNG船の受注により
商船が増加

➤ **防衛・宇宙**
防衛が増加

➤ **機械・設備システム**
前年同期の在外グループ会社決算期
変更影響を、製鉄機械の事業統合効果
や従来事業の規模拡大でカバー

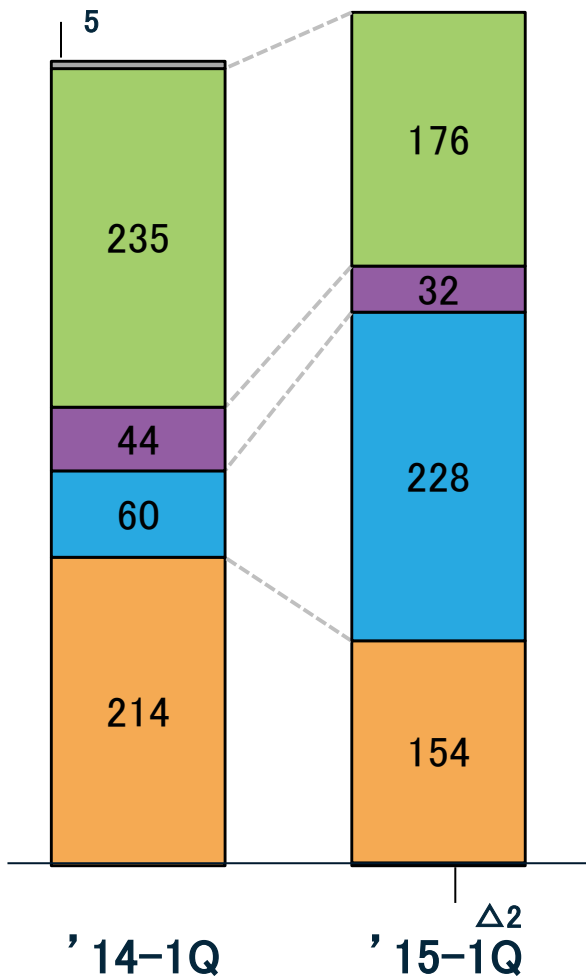


※ ターボチャージャ、空調機等の量産品は含まない



+28億円

560億円 588億円



- **エネルギー・環境**
火力事業はプラント損益とサービス損益を合わせたところでは、ほぼ前年同期並み。納入済プラントの不具合対策費用の計上等により減益
- **交通・輸送**
民間航空機のコスト改善や商船の船種ミックス改善等に加えて、円安効果もあり増益
- **防衛・宇宙**
宇宙の減収等により減益
- **機械・設備システム**
前年同期の在外グループ会社決算期変更影響により減益

Ⅱ. 2015年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2015年度業績見通し サマリー

(単位:億円)

	'14年度実績		'15年度見通し		増減	
	(利益率)		(利益率)		(増減率)	
受注高		46,991		47,000	+8	(+0.0%)
売上高		39,921		42,000	+2,078	(+5.2%)
営業利益	(7.4%)	2,961	(7.6%)	3,200	+238	(+8.1%)
経常利益	(6.9%)	2,747	(7.1%)	3,000	+252	(+9.2%)
特別損益		△420		△500	△79	—
純利益(※)	(2.8%)	1,104	(3.1%)	1,300	+195	(+17.7%)
ROE		6.5%		7.1%	+0.6pt	—
EBITDA	(11.7%)	4,650	(12.0%)	5,020	+369	(+7.9%)
フリーCF		386	前回 1,000 →	0	△386	—
配当(1株あたり)		11円 (中間5円/期末6円)		12円 (中間6円/期末6円)		

(※)'15年度見通しは「親会社株主に帰属する当期純利益」

【未確定外貨】

23億ドル (期首:30億ドル)

3億ユーロ (期首:4億ユーロ)

【前提為替レート】

1ドル = 115円

1ユーロ = 130円

2015年度業績見通し セグメント別内訳

(単位:億円)

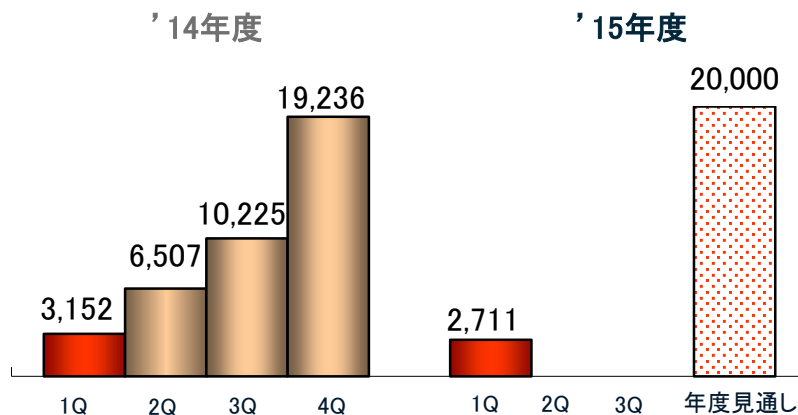
	受注高			売上高			営業利益			
	'14年度 実績	'15年度 見通し	増減	'14年度 実績	'15年度 見通し	増減	'14年度 実績	'15年度		増減
								今回 見通し	15.5.8 見通し	
エネルギー・環境	19,236	20,000	+763	15,995	16,000	+4	1,626	1,700	1,850	+73
交通・輸送	9,992	7,000	△ 2,992	5,295	6,500	+1,204	234	450	300	+215
防衛・宇宙	4,174	4,000	△ 174	4,839	4,500	△ 339	285	270	270	△ 15
機械・設備システム	13,046	15,000	+1,953	13,195	14,000	+804	841	850	850	+8
その他	1,908	2,000	+91	1,828	2,000	+171	138	150	150	+11
消去または共通	△ 1,367	△ 1,000	+367	△ 1,233	△ 1,000	+233	△ 166	△ 220	△ 220	△ 53
合計	46,991	47,000	+8	39,921	42,000	+2,078	2,961	3,200	3,200	+238

Ⅲ. 補足資料

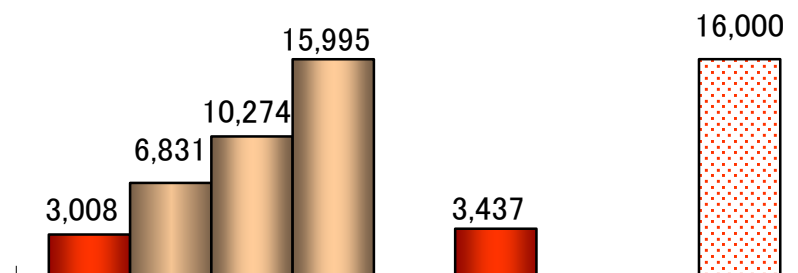
補足資料① 第1四半期決算実績 <エネルギー・環境>

(億円・各期の数値は累計)

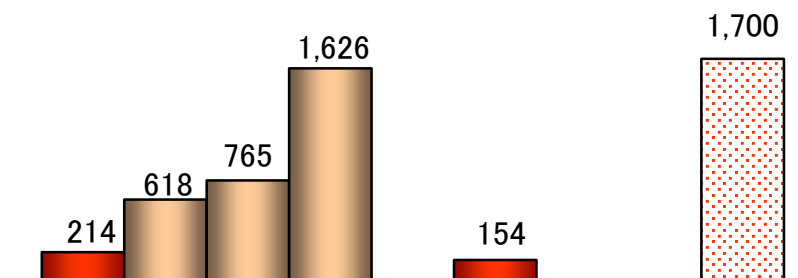
受注



売上



営業利益



受注 : 対前年同期 $\Delta 441$ 億円の減少

前年同期に決算期変更や複数の新設プラントの受注があったコンベンショナルが減少したことなどにより、前年同期を下回った。

【ガスタービン受注台数】

'14-1Q : 4台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	-	-	-	-	0
中小型	-	-	-	4	4
合計	0	0	0	4	4

'15-1Q : 3台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	-	2	-	-	2
中小型	-	-	-	1	1
合計	0	2	0	1	3

【ガスタービン契約残台数】

	大型	中小型	合計
'14-1Q末	40	34	74
'14年度末	34	33	67
'15-1Q末	34	31	65

売上 : 対前年同期 +428 億円の増収

化学プラントやコンベンショナル等の増収により前年同期を上回った。

損益 : 対前年同期 $\Delta 60$ 億円の減益

納入済プラントの不具合対策費用の計上等により前年同期を下回った。

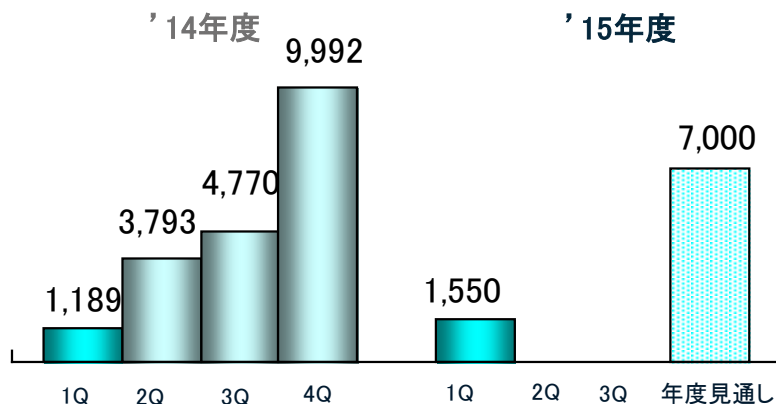
年間見通し

営業利益 : 1,850 億円から 1,700 億円へ修正

補足資料① 第1四半期決算実績 <交通・輸送>

(億円・各期の数値は累計)

受注



受注 : 対前年同期 +360億円の増加

LNG船の受注隻数が増加したことなどにより、前年同期を上回った。

【商船 受注隻数】

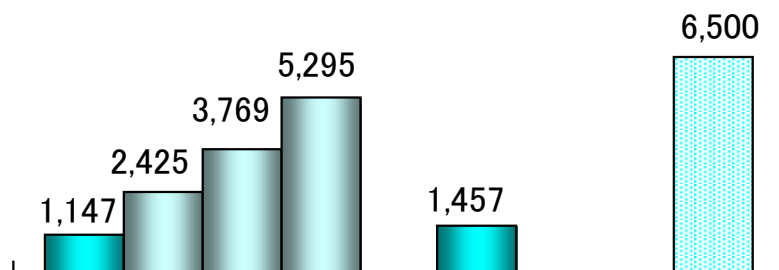
'14-1Q: 3隻 (1Q:3隻、2Q:3隻、3Q:1隻、4Q:4隻)

'15-1Q: 4隻 (1Q:4隻)

【商船 契約残隻数】 38隻

(LNG船 10隻、LPG船 7隻、フェリー/貨客船 3隻、巡視船 6隻 他)

売上



売上 : 対前年同期 +310億円の増収

円安効果のあった民間航空機や商船を中心に増加し、前年同期を上回った。

【B777 引渡機数】

'14-1Q: 26機 (1Q:26機、2Q:24機、3Q:26機、4Q:22機)

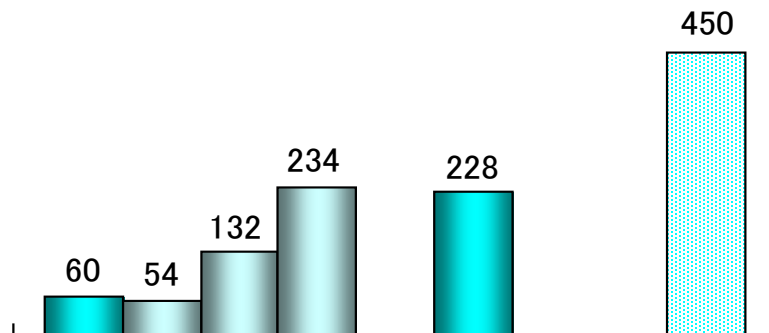
'15-1Q: 28機 (1Q:28機)

【B787 引渡機数】

'14-1Q: 32機 (1Q:32機、2Q:28機、3Q:30機、4Q:32機)

'15-1Q: 32機 (1Q:32機)

営業利益



損益 : 対前年同期 +167億円の増益

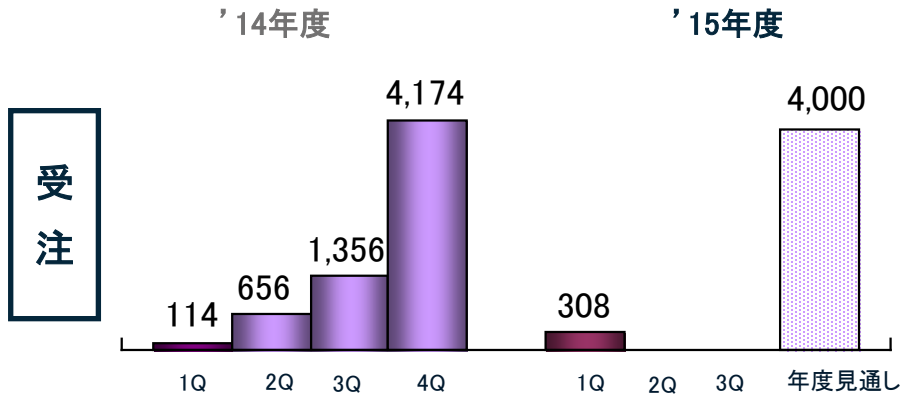
民間航空機のコスト改善や商船の船種ミックス改善等に加えて、円安効果もあり前年同期を上回った。

年間見通し

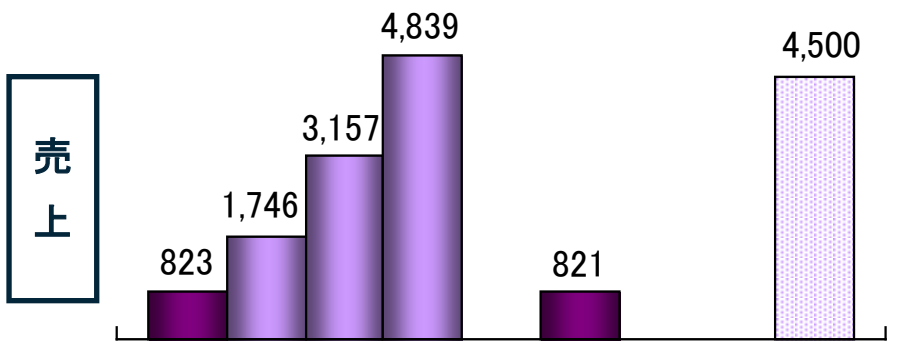
営業利益 : 300億円から450億円へ修正

補足資料① 第1四半期決算実績 <防衛・宇宙>

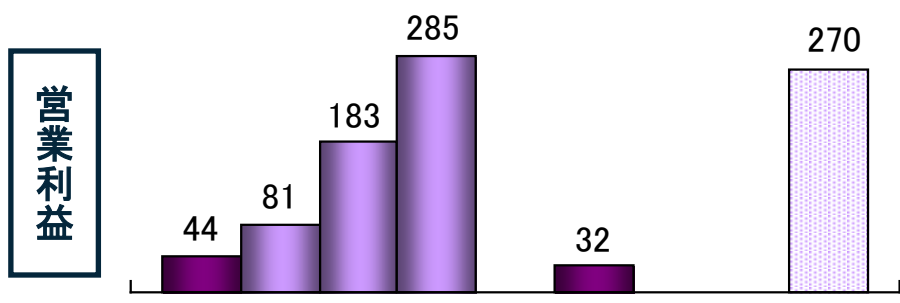
(億円・各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期 +194億円の増加
防衛が増加し、前年同期を上回った。



売上 : 対前年同期 △2億円の減収
飛昇体等の売上が増加したものの、今期に打上げのなかった宇宙が減少し、前年同期並みとなった。



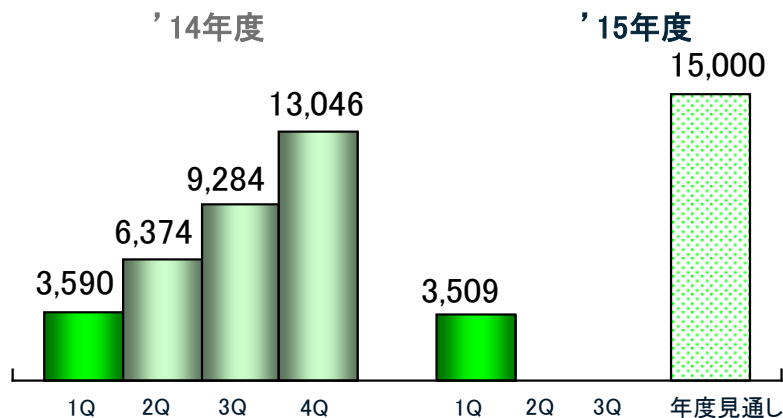
損益 : 対前年同期 △12億円の減益
宇宙の減収に伴い、前年同期を下回った。

年間見通し
変更なし

補足資料① 第1四半期決算実績 <機械・設備システム>

(億円・各期の数値は累計)

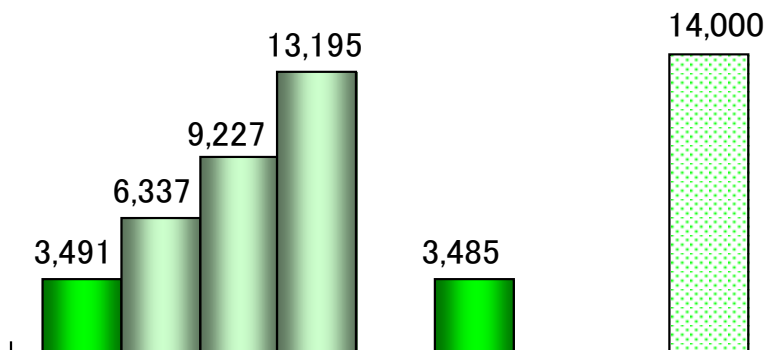
受注



受注 : 対前年同期 $\Delta 80$ 億円の減少
売上 : 対前年同期 $\Delta 5$ 億円の減収

シーメンス社との事業統合により製鉄機械が増収となった一方、前年同期に在外グループ会社決算期変更があった影響により、前年同期を下回った。

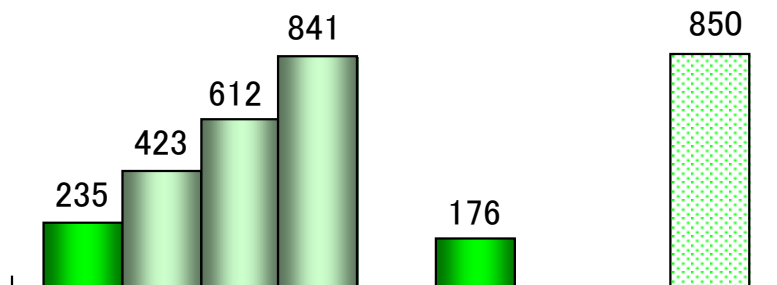
売上



損益 : 対前年同期 $\Delta 58$ 億円の減益

前年同期に在外グループ会社決算期変更があった影響により、前年同期を下回った。

営業利益



年間見通し
 変更なし

1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位: 億円)

	'14-1Q	'15-1Q	'15年度 見通し
研究開発費	264	264	1,500
減価償却費	350	371	1,700
設備投資	415	276	1,800

2. 販売費及び一般管理費

(単位: 億円)

	'14-1Q	'15-1Q
販管費	1,318	1,330

3. 為替レート

	'14-1Q	'15-1Q
USドル(円/USドル)	102.0	120.2
ユーロ(円/ユーロ)	140.5	132.1

4. 海外地域別売上高

(単位:億円)

	'14-1Q	'15-1Q
アジア	1,781 (21%)	1,731 (19%)
北米	1,611 (19%)	2,046 (21%)
欧州	993 (11%)	959 (10%)
中南米	233 (3%)	327 (4%)
中東	294 (3%)	262 (3%)
アフリカ	239 (3%)	252 (3%)
大洋州	120 (1%)	60 (1%)
合計	5,274 (61%)	5,640 (61%)

5. 所在地別セグメント情報

(単位:億円)

		'14-1Q	'15-1Q
日本	売上高	6,153	6,763
	営業損益	421	495
北米	売上高	1,052	1,324
	営業損益	17	28
アジア	売上高	1,334	1,043
	営業損益	100	78
欧州	売上高	1,041	843
	営業損益	17	△ 19
その他	売上高	119	261
	営業損益	3	5
消去または共通	売上高	△ 1,103	△ 921
	営業損益	-	-
合計	売上高	8,597	9,314
	営業損益	560	588



この星に、たしかな未来を